

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月12日(金)

事務事業		環境政策企画事務			担当課	環境課	担当係	環境政策係	管理番号	39111
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市環境基本計画			
	小項目	1	自然・生活環境の保全							
	主要プロジェクト									
事業概要		環境ポスター等のコンテストを行い、市民や事業者の環境活動を啓発し、環境意識の高揚に寄与するものである。								
目的 ※何のために		市民や事業者の環境活動を啓発し、環境意識の高揚を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		市民や事業者（ポスターは小学校4年生及び中学校2年生）								
手段 ※どのように		環境ポスター、環境川柳及び緑のカーテンのコンテストを実施する。								
成果 ※何を求めるか		環境について考える機会が増え、環境に配慮できる地域社会の確立								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	7	公害対策費	環境保全総合事務費	4,615,754
本事業の 主な業務		・環境政策企画立案							・	
		・環境審議会の開催							・	
		・環境に関するコンテスト実施							・	
		・環境に関する市民啓発							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		環境基本計画の見直し 環境に関するコンテスト 実施 環境に関する市民啓発	環境に関するコンテスト 実施 環境に関する市民啓発	環境に関するコンテスト 実施 環境に関する市民啓発	環境に関するコンテスト 実施 環境に関する市民啓発 生活排水処理基本計画策 定	環境に関するコンテスト 実施 環境に関する市民啓発 環境基本計画策定	
事業費	予算（現額）	11,234,000	2,185,000	2,165,000	5,216,000	12,328,000	
	決算額	11,190,918	1,741,586	1,513,119	4,615,754	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	373,539	232,194	278,600	511,000	486,000
	一般財源	10,817,379	1,509,392	1,234,519	4,104,754	11,842,000	
人件費	従事職員数（人）	2.25	2.05	1.42	1.68	1.99	
	人件費相当試算※	17,706,504	16,420,839	11,675,583	14,241,518	17,528,893	
総事業費試算		28,897,422	18,162,425	13,188,702	18,857,272	29,856,893	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	環境保全啓発媒体数	目標値	媒体	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		実績値	5.00	5.00	5.00	5.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			HP、広報、SNS、掲示物、市事務事業（通知の余白を利用、会議等での配布）の活用 / 活用した媒体の数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	ダンボールコンポスト講習会 参加人数	目標値	人	65.00	66.00	67.00	68.00	69.00	70.00	
		実績値	65.00	62.00	20.00	48.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和４年度実績値をもとに毎年１人ずつ増加 / 講習会に参加した人数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	環境ポスターコンテスト出品 校数	目標値	枚	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	
		実績値	28.00	27.00	27.00	27.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			市内小中学校数 / 応募のあった学校数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	環境エコ川柳コンテスト出品 数	目標値	句	797.00	797.00	797.00	797.00	797.00	797.00	
		実績値	1,135.00	951.00	780.00	737.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			H30～R4年度平均値（797句）以上を目標 / 応募のあった句数						
	実績値の算出式									
成果指標 4	緑のカーテンコンテスト出品 数	目標値	件	82.00	85.00	88.00	92.00	96.00	100.00	
		実績値	61.00	55.00	40.00	49.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			環境基本計画の指標・目標と整合 / 応募のあった件数						
	実績値の算出式									
成果指標 5	環境問題を以前より意識する ようになったと答えた市民の 割合	目標値	%	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	
		実績値	54.40	51.20	52.60	50.80				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			H30～R4平均値（54.9%）を毎年度超えるようにすることを目標 / 深谷市民まちづくりアンケート						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	今年度についてもHP、広報、SNS、掲示物、市事務事業等を活用し、環境保全に係る啓発を実施することができた。 特にスマートムーブや蛍光灯廃止のような新しい観点、情報についても継続的に周知することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	コンテスト及び講習会に係る指標についてはすべて目標を達成することができなかった。しかしダンボールコンポスト講習会についてはR6に実施方法の大きな見直しをせまられ暫定的に新しい方法で実施したが、R7については事前に調整を重ねた結果、参加人数については大幅に改善することができた。 また、深谷市民まちづくりアンケートについては目標値を下回った。すでに意識の高い市民は「変わらない」を選択するとも考えられる。参考までに「以前より意識しなくなった」の回答は2.1%で前年度とほぼ横ばいである。
			評価者 環境政策係長 岡部 孝司

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	環境ポスターコンテストについては優秀作品の返却方法を見直し、2回から1回としたことで事務の軽減が図られた。 緑のカーテンコンテストに係るゴーヤ苗の無料配付について、継続して申し込みの案内を工夫した結果、電子申請率が前年度と同様、令和5年度の約50%から約80%まで上昇した。
			評価者 環境政策係長 岡部 孝司